



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『天気』

今日は昼から雨が降ります
傘が必要です

雨は全く降らなかった

明日は大雪です
足元にはお気をつけて下さい

雪は降らずに雨だった

人が宇宙に行く時代
それでも天気予報も完璧ではない
あくまで予報

日本を覆う雲の写真が写っている
自信満々に予報士が言う
今日は一日中、雨です

降っていたのは一時間くらい

最近の技術ではほとんどが当たるだろう
しかし 100 パーセントではない

それでも人は天気予報を信じている
100 パーセント鵜呑みに信じている
何の疑いもなく
テレビに映った天気図を観て信じている



人は自然を理解しているのだろうか

人は自然を超えたと思っているのだろうか

人工的なものが自然を超えるとしたら
人はどうなっていくのだろうか

超えようという気持ち
確かに悪いことではない
しかし天の気持ち
人はどこまで理解しているのだろうか

天の気持ちを理解せず
何を人はしたいのだろうか
人はそんなに偉いのだろうか
人はそんなに強いのだろうか

今日は一日中、快晴です
いつもこんな天気でいて欲しい
それは人の勝手な気持ち

人は早く気付かなければならない
感謝に値するものがないのではない
天に感謝する気持ちに気付いていないだけだ

そう
天気は天の気持ち